



まちづくりアンケート

平成 30 年度 東松島市 市民満足度調査

集計結果報告書

平成 30 年 12 月

東 松 島 市

目次

1	調査の概要	1
2	回答者属性	2
3	各分野の満足度・重要度	7
4	活動への参加	18
5	復興まちづくり計画	20
6	市報ひがしまつしま	21
7	家庭内防災用備蓄について	23
8	SDG s（持続可能な開発目標）について	24

調査の概要

1. 調査の目的

本市では、東日本大震災からの一日も早い復旧・復興を目指して、「東松島市復興まちづくり計画」を策定し、「あの日を忘れず ともに未来へ～東松島一心～」を掲げ、復興のまちづくりを進めています。

また、平成27年度にはこの計画を包含した「東松島市第2次総合計画」を策定し、将来像に定めた「人育み 人輝く 東松島」の実現に向けた市民協働のまちづくりを展開推進しているところです。

これらの計画を効率的に推進するため、市民の皆様の満足度や重要度を把握することにより、行政サービスの改善や今後の事業展開につなげることを目的として実施しました。

2. 調査の方法

- ① 対象者 : 18歳以上の東松島市民の方
- ② 抽出方法 : 住民基本台帳からの無作為抽出
- ③ 標本数 : 1,500人
- ④ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収方式
- ⑤ 調査期間 : 平成30年7月2日 ～ 7月25日

3. 回収結果

- ① 対象者 : 1,500人
- ② 回収数 : 510人 (男219人・女284人・性別未回答7人)
- ③ 回収率 : 34.0% (昨年度: 32.8%)

4. その他

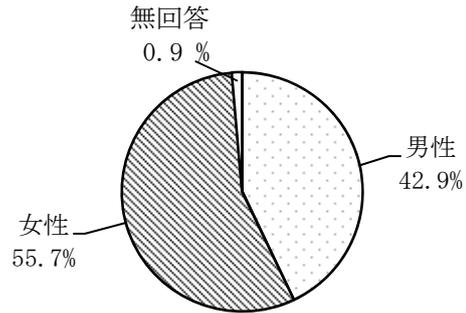
市政に対し、多くの貴重なご意見、ご要望をいただいております。今後、分析、検討を行い、市政運営に反映して参ります。

回答結果が一目で分かるように、最も回答が多い項目等をグレー表示にしている場合があります。

問1. 性別

あなたの性別はどちらですか。

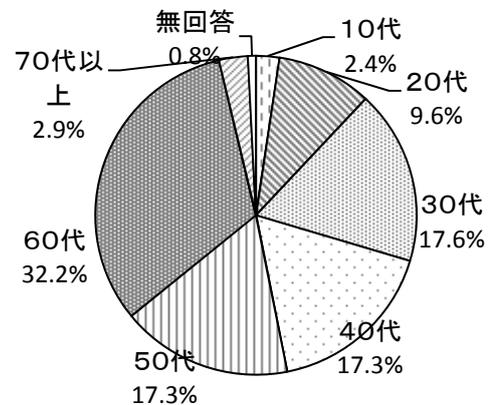
	回答数	構成比
男性	219	42.9%
女性	284	55.7%
無回答	7	1.4%
計	510	100.0%



問2. 年齢階層

あなたの満年齢をお答えください。

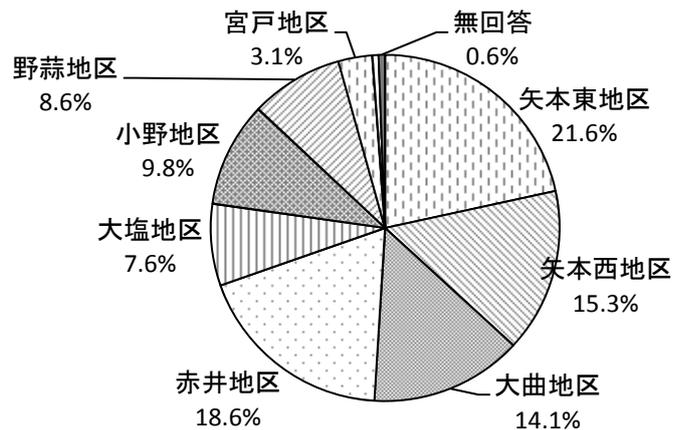
	回答数	構成比
10代	12	2.4%
20代	49	9.6%
30代	90	17.6%
40代	88	17.3%
50代	88	17.3%
60代	164	32.2%
70代以上	15	2.9%
無回答	4	0.8%
計	510	100.0%



問3. 居住地

あなたは、どちらにお住まいですか。

	回答数	構成比
矢本東地区	110	21.6%
矢本西地区	78	15.3%
大曲地区	72	14.1%
赤井地区	95	18.6%
大塩地区	39	7.6%
小野地区	50	9.8%
野蒜地区	44	8.6%
宮戸地区	16	3.1%
市外	3	0.6%
無回答	3	0.6%
計	510	100.0%

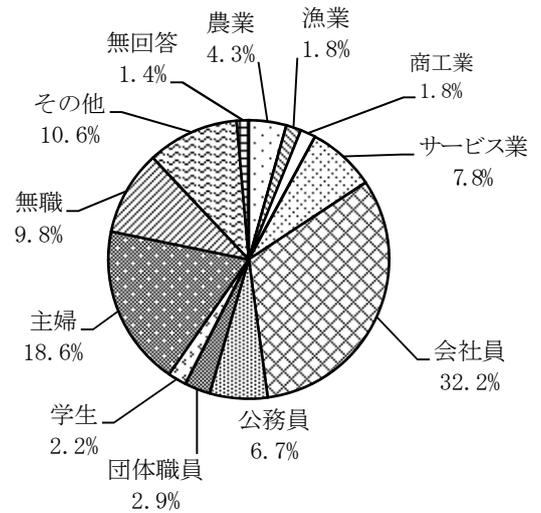


- 性別の内訳は、「男性」が42.9%、「女性」が55.7%で女性の割合が多くなっている。アンケート対象者は男性のほうが若干多かったが、回答いただいた方は女性が大きく上回る結果となっている。
- 年齢階層は、「60代」が最も多く32.2%、続いて「30代」が17.6%、「40代」、「50代」が17.3%となっており、50代以上が過半数を占める。これは、回答いただいた方がアンケート対象者の年齢階層と比較すると、比較的年齢が高い方が多いことが分かる。
- 居住地は、「矢本東地区」が最も多く21.6%、続いて「赤井地区」18.6%、「矢本西地区」が15.3%となっており、これら3地区で過半数を占める。この結果は、アンケート対象者の居住地の内訳と大きな違いはない。

問4. 職業

あなたの職業は次のうちどれですか。

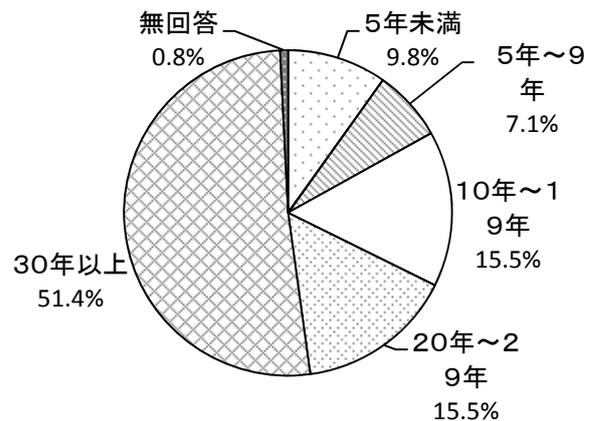
	回答数	構成比
農業	22	4.3%
漁業	9	1.8%
商工業	9	1.8%
サービス業	40	7.8%
会社員	164	32.2%
公務員	34	6.7%
団体職員	15	2.9%
学生	11	2.2%
主婦	95	18.6%
無職	50	9.8%
その他	54	10.6%
無回答	7	1.4%
計	510	100.0%



問5. 居住年数

あなたは、東松島市（旧矢本町・旧鳴瀬町）に居住して何年になりますか。

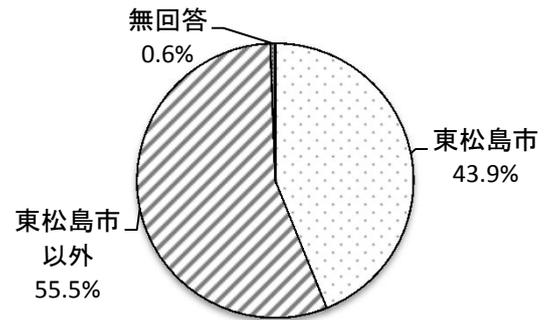
	回答数	構成比
5年未満	50	9.8%
5年～9年	36	7.1%
10年～19年	79	15.5%
20年～29年	79	15.5%
30年以上	262	51.4%
無回答	4	0.8%
計	510	100.0%



- 職業は、「会社員」が最も多く 32.2%、続いて「主婦」が18.6%、「無職」が 9.8%となっている。
- 居住年数は、「30年以上」が最も多く 51.4%と過半数を占めている。続いて「10年～19年」、「20年～29年」が15.5%で続き、10年以上居住している方が8割を超えている。

問6. 生まれた場所はどちらですか

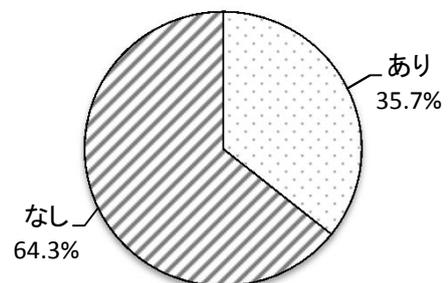
	回答数	構成比
東松島市	224	43.9%
東松島市以外	283	55.5%
無回答	3	0.6%
計	510	100.0%



問7. 東日本大震災以前に、東松島市以外で住んでいた期間はありますか

(東松島市生まれの方対象)

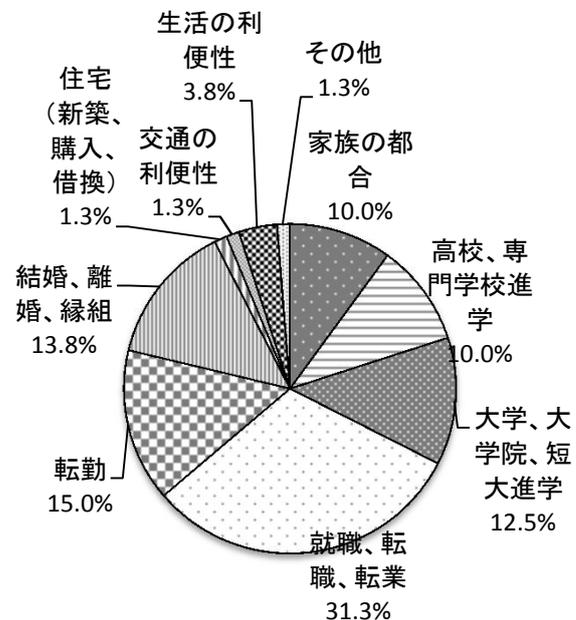
	回答数	構成比
あり	80	35.7%
なし	144	64.3%
計	224	100.0%



問8. 市外に住んでいた理由

(問7でありと回答した方が対象)

	回答数	構成比
家族の都合	8	10.0%
中学校進学	0	0.0%
高校、専門学校進学	8	10.0%
大学、大学院、短大進学	10	12.5%
就職、転職、転業	25	31.3%
転勤	12	15.0%
退職、廃業	0	0.0%
結婚、離婚、縁組	11	13.8%
住宅(新築、購入、借換)	1	1.3%
交通の利便性	1	1.3%
生活の利便性	3	3.8%
その他	1	1.3%
無回答	0	0.0%
計	80	100.0%

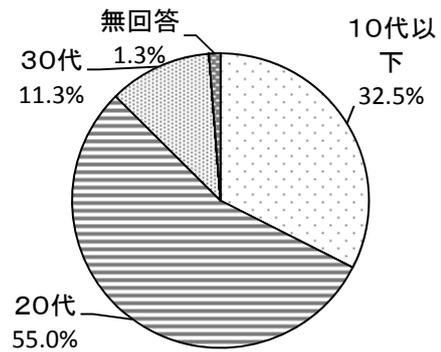


- 生まれた場所は市外が55.5%と市内の43.9%を上回っている。
- 東松島市生まれの方で、東日本大震災以前に、市外に住んでいた期間がある人は35.7%と4割を下回る。
- 東松島市生まれの方で、市外に住んでいた期間がある人の理由は、「就職、転職、転業」が他を大きく上回り31.3%、その後、「転勤」、「大学、大学院、短大進学」、「結婚、離婚、縁組」と続き、ここまですべて10%を超えている。続く、「家族の都合」、「高校、専門学校進学」も合わせると90%を超え、仕事、学業、家族などの都合によるものが大多数を占めている。

問9. 市外に住み始めた年齢

(問7でありと回答した方が対象)

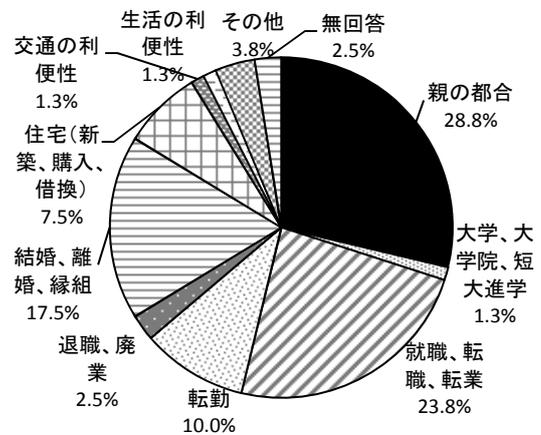
	回答数	構成比
10代以下	26	32.5%
20代	44	55.0%
30代	9	11.3%
40代	0	0.0%
50代	0	0.0%
60代	0	0.0%
70代以上	0	0.0%
無回答	1	1.3%
計	80	100.0%



問10. 市内に戻って来た理由

(問7でありと回答した方が対象)

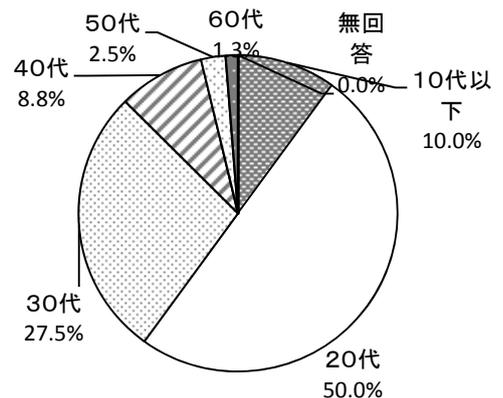
	回答数	構成比
親の都合	23	28.8%
中学校進学	0	0.0%
高校、専門学校進学	0	0.0%
大学、大学院、短大進学	1	1.3%
就職、転職、転業	19	23.8%
転勤	8	10.0%
退職、廃業	2	2.5%
結婚、離婚、縁組	14	17.5%
住宅（新築、購入、借換）	6	7.5%
交通の利便性	1	1.3%
生活の利便性	1	1.3%
その他	3	3.8%
無回答	2	2.5%
計	80	100.0%



問11. 市内に戻って来た年齢

(問7でありと回答した方が対象)

	回答数	構成比
10代以下	8	10.0%
20代	40	50.0%
30代	22	27.5%
40代	7	8.8%
50代	2	2.5%
60代	1	1.3%
70代以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	80	100.0%

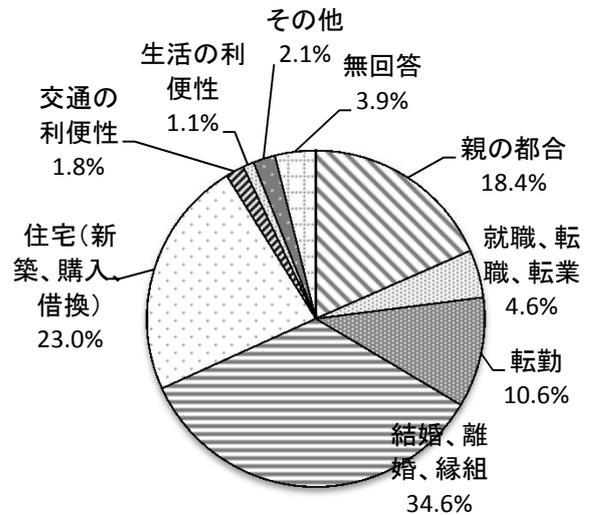


- 東松島市生まれで、市外に住んだことのある方の市外に住み始めた年齢は「20代」が55.0%、「10代以下」が32.5%、「30代」が11.3%で30代以下が9割を超える。
- 東日本大震災以前に市外に居住し、再び市内に戻って来た理由は「親の都合」が最も多く28.8%、続いて、「就職、転職、転業」が23.8%、「結婚・離婚・縁組」が17.5%でこの3つの理由が7割を占めている。
- 東日本大震災以前に市外に居住し、再び市内に戻って来た年齢は「20代」が50.0%、「30代」が27.5%で、約8割を占めている。
- 東松島市生まれで、市外に住んだことがあり、市内に戻って来た方は、比較的若い年齢で仕事の都合、進学などで市外に住み、20代、30代を中心とする比較的若い年齢のうちに、家族や仕事の都合で戻って来た方が多いことが分かる。

問12. 市外で生まれ、市内に住み始めた理由

(市外生まれの方対象)

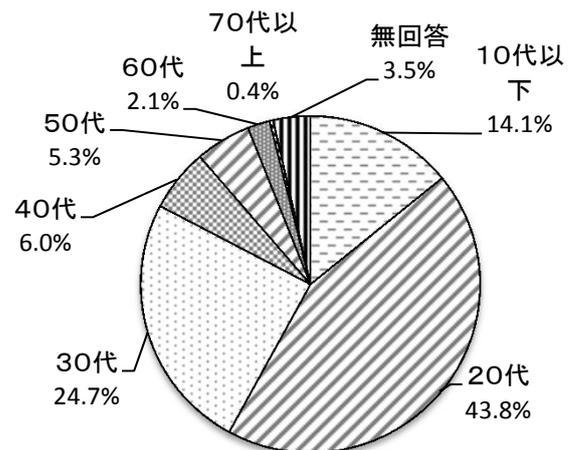
	回答数	構成比
親の都合	52	18.4%
中学校進学	0	0.0%
高校、専門学校進学	0	0.0%
大学、大学院、短大進学	0	0.0%
就職、転職、転業	13	4.6%
転勤	30	10.6%
退職、廃業	0	0.0%
結婚、離婚、縁組	98	34.6%
住宅(新築、購入、借換)	65	23.0%
交通の利便性	5	1.8%
生活の利便性	3	1.1%
その他	6	2.1%
無回答	11	3.9%
計	283	100.0%



問13. 市外で生まれ、市内に住み始めた年齢

(市外生まれの方対象)

	回答数	構成比
10代以下	40	14.1%
20代	124	43.8%
30代	70	24.7%
40代	17	6.0%
50代	15	5.3%
60代	6	2.1%
70代以上	1	0.4%
無回答	10	3.5%
計	283	100.0%



- 市外で生まれ、市内に住み始めた理由は、「結婚、離婚、縁組」が最も多く34.6%、続いて「住宅(新築、購入、借換)」が23.0%、「親の都合」が18.4%となっている。
- 市外で生まれ、市内に住み始めた年齢は「20代」が43.8%、「30代」が24.7%、「10代以下」が14.1%で、30代以下が8割を超えている。
- 市外で生まれ、市内に移り住んだ方は、20代を中心に30代までの比較的若いうちに、結婚、住宅の購入などのライフイベントにより東松島市に転入された方が多いことが分かる。

問14・問15. 満足度・重要度一覧

問14：あなたは東松島市の各分野における現況について、どのように感じていますか。（満足度）

問15：各分野の施策の中で、あなたが今、特に大切だとお考えの施策について5つまで選んでください。（重要度）

$$\text{○満足度指数} = \frac{(\text{そう思う} \times 2) + (\text{どちらかといえばそう思う} \times 1) + (\text{どちらかというと思わない} \times -1) + (\text{そう思わない} \times -2)}{\text{総数} - \text{無回答者数}}$$

$$\text{○重要度指数} = \frac{\text{回答数}}{\text{有効回答者総数}}$$

○偏差値とは・・・その集団の中でどの位置にいるかを表した数値。平均値は50。

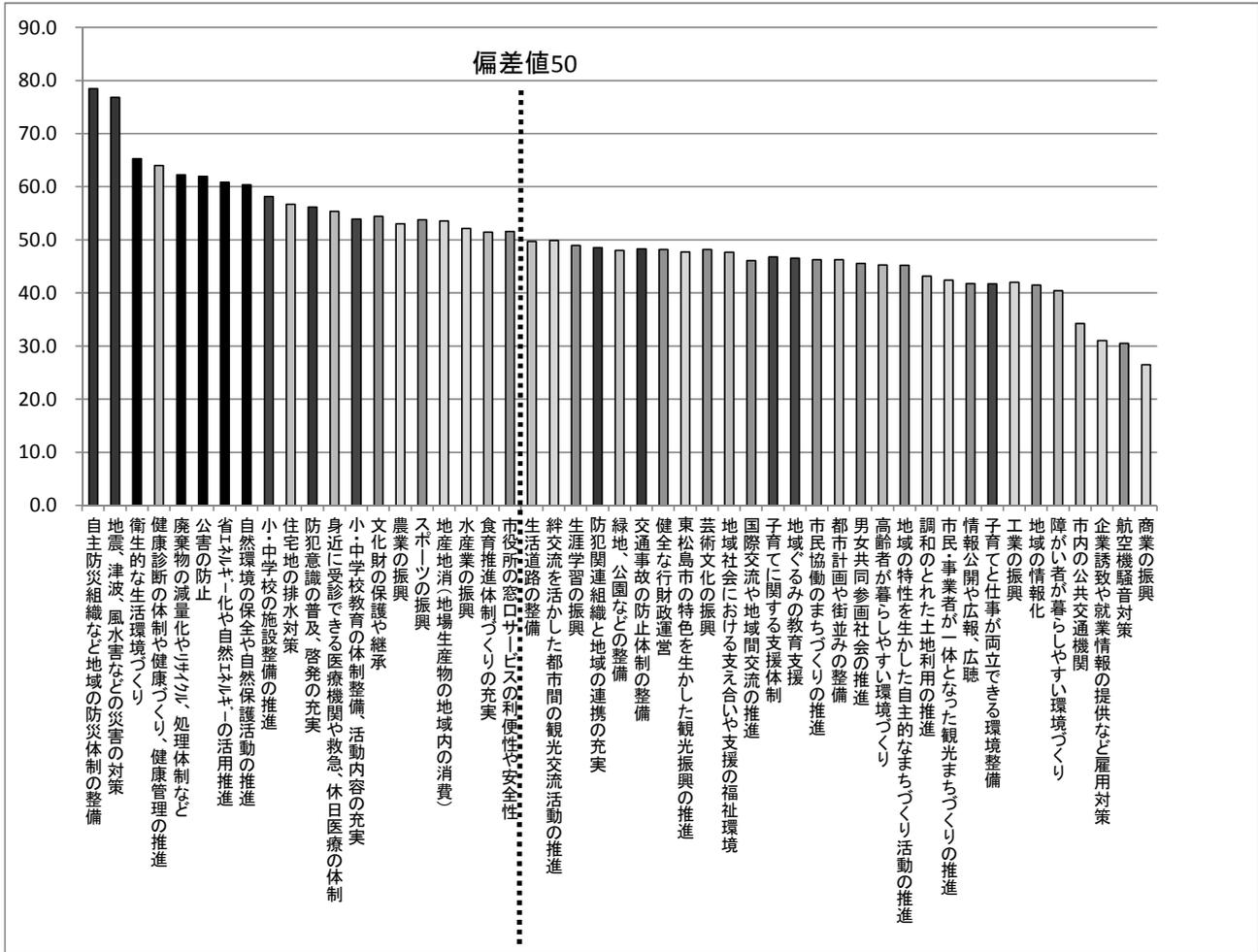
		満足度							重要度			
		1	2	5	3	4	0	510				
		そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	満足度 指数	満足度 偏差値	回答数 (全体より 5択)	重要度 指数	重要度 偏差値
資源 エネ ルギ ー・ 自然 環境 分野	廃棄物の減量化やリサイクル、処理体制など	回答数 80 構成比 15.7%	226 44.3%	57 11.2%	100 19.6%	35 6.9%	12 2.4%	0.434	62.3	56	0.110	50.0
	省エネルギー化や自然エネルギーの活用推進	回答数 65 構成比 12.7%	229 44.9%	73 14.3%	95 18.6%	35 6.9%	13 2.5%	0.390	60.9	43	0.084	47.1
	自然環境の保全や自然保護活動の推進	回答数 60 構成比 11.8%	247 48.4%	51 10.0%	100 19.6%	40 7.8%	12 2.4%	0.376	60.4	49	0.096	48.5
	公害の防止	回答数 58 構成比 11.4%	252 49.4%	64 12.5%	87 17.1%	35 6.9%	14 2.7%	0.425	62.0	18	0.035	41.6
	衛生的な生活環境づくり	回答数 59 構成比 11.6%	284 55.7%	42 8.2%	84 16.5%	28 5.5%	13 2.5%	0.527	65.3	54	0.106	49.6
	防災・ 防犯 分野	地震、津波、風水害などの災害の対策	回答数 142 構成比 27.8%	250 49.0%	31 6.1%	48 9.4%	24 4.7%	15 2.9%	0.885	76.9	189	0.371
自主防災組織など地域の防災体制の整備		回答数 154 構成比 30.2%	241 47.3%	30 5.9%	60 11.8%	12 2.4%	13 2.5%	0.936	78.5	38	0.075	46.0
防犯意識の普及、啓発の充実		回答数 52 構成比 10.2%	197 38.6%	88 17.3%	126 24.7%	27 5.3%	20 3.9%	0.247	56.2	147	0.288	70.2
防犯関連組織と地域の連携の充実		回答数 36 構成比 7.1%	173 33.9%	96 18.8%	134 26.3%	53 10.4%	18 3.5%	0.010	48.6	147	0.288	70.2
交通事故の防止体制の整備		回答数 45 構成比 8.8%	171 33.5%	79 15.5%	137 26.9%	61 12.0%	17 3.3%	0.004	48.4	41	0.080	46.7
健康・ 福祉・ 医療 分野		高齢者が暮らしやすい環境づくり	回答数 24 構成比 4.7%	162 31.8%	103 20.2%	157 30.8%	49 9.6%	15 2.9%	-0.091	45.3	187	0.367
	障がい者が暮らしやすい環境づくり	回答数 24 構成比 4.7%	122 23.9%	117 22.9%	166 32.5%	61 12.0%	20 3.9%	-0.241	40.4	70	0.137	53.1
	地域社会における支え合いや支援の福祉環境	回答数 37 構成比 7.3%	172 33.7%	88 17.3%	138 27.1%	58 11.4%	17 3.3%	-0.016	47.7	64	0.125	51.8
	健康診断の体制や健康づくり、健康管理の推進	回答数 66 構成比 12.9%	245 48.0%	77 15.1%	86 16.9%	24 4.7%	12 2.4%	0.488	64.0	52	0.102	49.1
	食育推進体制づくりの充実	回答数 45 構成比 8.8%	168 32.9%	105 20.6%	142 27.8%	33 6.5%	17 3.3%	0.101	51.5	14	0.027	40.7
	身近に受診できる医療機関や救急、休日医療の体制	回答数 61 構成比 12.0%	204 40.0%	69 13.5%	112 22.0%	52 10.2%	12 2.4%	0.221	55.4	118	0.231	63.8
子育て・ 教育 分野	子育てに関する支援体制	回答数 32 構成比 6.3%	159 31.2%	98 19.2%	122 23.9%	61 12.0%	38 7.5%	-0.044	46.8	113	0.222	62.7
	子育てと仕事が両立できる環境整備	回答数 24 構成比 4.7%	134 26.3%	105 20.6%	141 27.6%	68 13.3%	38 7.5%	-0.201	41.7	143	0.280	69.3
	小・中学校教育の体制整備、活動内容の充実	回答数 38 構成比 7.5%	183 35.9%	116 22.7%	90 17.6%	43 8.4%	40 7.8%	0.177	53.9	87	0.171	56.9
	小・中学校の施設整備の推進	回答数 53 構成比 10.4%	198 38.8%	97 19.0%	82 16.1%	39 7.6%	41 8.0%	0.307	58.2	87	0.171	56.9
	地域ぐるみの教育支援	回答数 30 構成比 5.9%	147 28.8%	117 22.9%	123 24.1%	54 10.6%	39 7.6%	-0.051	46.6	36	0.071	45.6

			満足度						重要度					
			そう 思う	どちら かとい えばそ う思う	どちら とも いえな い	どちらか という とそう 思わな い	そう思 わない	無回答	満足度 指数	満足度 偏差値	回答数 (全体より 5択)	重要度 指数	重要度 偏差値	
文化・生涯学習分野	生涯学習の振興	回答数	29	173	110	118	51	29	0.023	49.0	40	0.078	46.5	
		構成比	5.7%	33.9%	21.6%	23.1%	10.0%	5.7%						
	スポーツの振興	回答数	41	206	79	107	49	28	0.172	53.8	40	0.078	46.5	
		構成比	8.0%	40.4%	15.5%	21.0%	9.6%	5.5%						
	芸術文化の振興	回答数	32	176	90	128	56	28	0.000	48.2	20	0.039	42.0	
		構成比	6.3%	34.5%	17.6%	25.1%	11.0%	5.5%						
	文化財の保護や継承	回答数	31	197	121	95	36	30	0.192	54.4	11	0.022	40.0	
		構成比	6.1%	38.6%	23.7%	18.6%	7.1%	5.9%						
	国際交流や地域間交流の推進	回答数	31	142	130	119	58	30	-0.065	46.1	19	0.037	41.8	
		構成比	6.1%	27.8%	25.5%	23.3%	11.4%	5.9%						
	男女共同参画社会の推進	回答数	24	151	130	112	63	30	-0.081	45.6	14	0.027	40.7	
		構成比	4.7%	29.6%	25.5%	22.0%	12.4%	5.9%						
	都市基盤・交通分野	調和のとれた土地利用の推進	回答数	23	146	123	122	73	23	-0.156	43.2	31	0.061	44.5
			構成比	4.5%	28.6%	24.1%	23.9%	14.3%	4.5%					
都市計画や街並みの整備		回答数	26	174	93	125	65	27	-0.060	46.3	37	0.073	45.8	
		構成比	5.1%	34.1%	18.2%	24.5%	12.7%	5.3%						
住宅地の排水対策		回答数	61	200	82	89	53	25	0.262	56.7	33	0.065	44.9	
		構成比	12.0%	39.2%	16.1%	17.5%	10.4%	4.9%						
緑地、公園などの整備		回答数	53	164	68	127	73	25	-0.006	48.0	71	0.139	53.3	
		構成比	10.4%	32.2%	13.3%	24.9%	14.3%	4.9%						
市内の公共交通機関		回答数	24	129	71	141	123	22	-0.430	34.3	83	0.163	56.0	
		構成比	4.7%	25.3%	13.9%	27.6%	24.1%	4.3%						
生活道路の整備		回答数	49	187	73	102	80	19	0.047	49.7	60	0.118	50.9	
		構成比	9.6%	36.7%	14.3%	20.0%	15.7%	3.7%						
産業振興分野		農業の振興	回答数	31	169	155	97	31	27	0.149	53.1	25	0.049	43.1
			構成比	6.1%	33.1%	30.4%	19.0%	6.1%	5.3%					
	水産業の振興	回答数	32	157	161	106	28	26	0.122	52.2	10	0.020	39.8	
		構成比	6.3%	30.8%	31.6%	20.8%	5.5%	5.1%						
	市民・事業者が一体となった観光まちづくりの推進	回答数	24	131	123	145	60	27	-0.178	42.5	40	0.078	46.5	
		構成比	4.7%	25.7%	24.1%	28.4%	11.8%	5.3%						
	絆交流を活かした都市間の観光交流活動の推進	回答数	33	166	122	119	44	26	0.052	49.9	23	0.045	42.7	
		構成比	6.5%	32.5%	23.9%	23.3%	8.6%	5.1%						
	東松島市の特色を生かした観光振興の推進	回答数	42	170	85	119	71	23	-0.014	47.8	25	0.049	43.1	
		構成比	8.2%	33.3%	16.7%	23.3%	13.9%	4.5%						
	商業の振興	回答数	14	76	98	161	133	28	-0.670	26.5	27	0.053	43.6	
		構成比	2.7%	14.9%	19.2%	31.6%	26.1%	5.5%						
	工業の振興	回答数	25	137	121	126	77	24	-0.191	42.0	9	0.018	39.6	
		構成比	4.9%	26.9%	23.7%	24.7%	15.1%	4.7%						
地産地消（地場生産物の地域内の消費）	回答数	54	187	85	108	53	23	0.166	53.6	25	0.049	43.1		
	構成比	10.6%	36.7%	16.7%	21.2%	10.4%	4.5%							
企業誘致や就業情報の提供など雇用対策	回答数	19	74	137	141	114	25	-0.530	31.1	72	0.141	53.6		
	構成比	3.7%	14.5%	26.9%	27.6%	22.4%	4.9%							
市民協働・行財政運営分野	市民協働のまちづくりの推進	回答数	23	169	114	131	57	16	-0.061	46.3	20	0.039	42.0	
		構成比	4.5%	33.1%	22.4%	25.7%	11.2%	3.1%						
	地域の特性を生かした自主的なまちづくり活動の推進	回答数	21	165	114	132	60	18	-0.091	45.3	37	0.073	45.8	
		構成比	4.1%	32.4%	22.4%	25.9%	11.8%	3.5%						
	地域の情報化	回答数	27	147	98	140	82	16	-0.209	41.5	23	0.045	42.7	
		構成比	5.3%	28.8%	19.2%	27.5%	16.1%	3.1%						
	市役所の窓口サービスの利便性や安全性	回答数	41	200	92	102	64	11	0.104	51.6	57	0.112	50.2	
		構成比	8.0%	39.2%	18.0%	20.0%	12.5%	2.2%						
	情報公開や広報、広聴	回答数	20	143	120	141	70	16	-0.198	41.8	5	0.010	38.7	
		構成比	3.9%	28.0%	23.5%	27.6%	13.7%	3.1%						
	健全な行財政運営	回答数	21	158	162	110	45	14	0.000	48.2	34	0.067	45.1	
		構成比	4.1%	31.0%	31.8%	21.6%	8.8%	2.7%						
	航空機騒音対策	回答数	24	102	95	130	146	13	-0.547	30.5	97	0.190	59.1	
		構成比	4.7%	20.0%	18.6%	25.5%	28.6%	2.5%						

満足度ランキング

満足度ランキング		指数	偏差値	順位			
				30年度	29年度	28年度	27年度
防災・防犯	自主防災組織など地域の防災体制の整備	0.936	78.5	1	1	1	1
防災・防犯	地震、津波、風水害などの災害の対策	0.885	76.9	2	2	2	9
資源エネルギー・自然環境	衛生的な生活環境づくり	0.527	65.3	3	5	3	3
健康・福祉・医療	健康診断の体制や健康づくり、健康管理の推進	0.488	64.0	4	3	5	6
資源エネルギー・自然環境	廃棄物の減量化やリサイクル、処理体制など	0.434	62.3	5	6	4	2
資源エネルギー・自然環境	公害の防止	0.425	62.0	6	7	7	5
資源エネルギー・自然環境	省エネルギー化や自然エネルギーの活用推進	0.390	60.9	7	4	6	8
資源エネルギー・自然環境	自然環境の保全や自然保護活動の推進	0.376	60.4	8	10	8	4
子育て・教育	小・中学校の施設整備の推進	0.307	58.2	9	8	14	15
都市基盤・交通	住宅地の排水対策	0.262	56.7	10	9	9	14
防災・防犯	防犯意識の普及、啓発の充実	0.247	56.2	11	11	13	7
健康・福祉・医療	身近に受診できる医療機関や救急、休日医療の体制	0.221	55.4	12	20	17	24
子育て・教育	小・中学校教育の体制整備、活動内容の充実	0.177	53.9	13	12	16	15
文化・生涯学習	文化財の保護や継承	0.192	54.4	14	16	11	17
産業振興	農業の振興	0.149	53.1	15	17	18	11
文化・生涯学習	スポーツの振興	0.172	53.8	16	15	24	29
産業振興	地産地消（地場生産物の地域内の消費）	0.166	53.6	17	14	12	20
産業振興	水産業の振興	0.122	52.2	18	22	15	11
健康・福祉・医療	食育推進体制づくりの充実	0.101	51.5	19	18	21	-
市民協働・行財政運営	市役所の窓口サービスの利便性や安全性	0.104	51.6	20	13	10	10
都市基盤・交通	生活道路の整備	0.047	49.7	21	38	27	25
産業振興	絆交流を活かした都市間の観光交流活動の推進	0.052	49.9	22	29	22	-
文化・生涯学習	生涯学習の振興	0.023	49.0	23	19	28	23
防災・防犯	防犯関連組織と地域の連携の充実	0.010	48.6	24	22	23	-
都市基盤・交通	緑地、公園などの整備	-0.006	48.0	25	21	26	41
防災・防犯	交通事故の防止体制の整備	0.004	48.4	26	35	20	13
市民協働・行財政運営	健全な行財政運営	0.000	48.2	27	28	19	19
産業振興	東松島市の特色を生かした観光振興の推進	-0.014	47.8	28	32	33	-
文化・生涯学習	芸術文化の振興	0.000	48.2	29	26	29	26
健康・福祉・医療	地域社会における支え合いや支援の福祉環境	-0.016	47.7	30	30	35	18
文化・生涯学習	国際交流や地域間交流の推進	-0.065	46.1	31	37	42	37
子育て・教育	子育てに関する支援体制	-0.044	46.8	32	24	25	22
子育て・教育	地域ぐるみの教育支援	-0.051	46.6	33	36	38	28
市民協働・行財政運営	市民協働のまちづくりの推進	-0.061	46.3	34	27	36	21
都市基盤・交通	都市計画や街並みの整備	-0.060	46.3	35	31	34	32
文化・生涯学習	男女共同参画社会の推進	-0.081	45.6	36	41	41	32
健康・福祉・医療	高齢者が暮らしやすい環境づくり	-0.091	45.3	37	32	31	31
市民協働・行財政運営	地域の特性を生かした自主的なまちづくり活動の推進	-0.091	45.3	38	34	37	-
都市基盤・交通	調和のとれた土地利用の推進	-0.156	43.2	39	25	32	27
産業振興	市民・事業者が一体となった観光まちづくりの推進	-0.178	42.5	40	45	46	38
市民協働・行財政運営	情報公開や広報、広聴	-0.198	41.8	41	38	30	34
子育て・教育	子育てと仕事が両立できる環境整備	-0.201	41.7	42	42	43	-
産業振興	工業の振興	-0.191	42.0	43	43	39	36
市民協働・行財政運営	地域の情報化	-0.209	41.5	44	44	44	35
健康・福祉・医療	障がい者が暮らしやすい環境づくり	-0.241	40.4	45	40	45	40
都市基盤・交通	市内の公共交通機関	-0.430	34.3	46	46	40	30
産業振興	企業誘致や就業情報の提供など雇用対策	-0.530	31.1	47	48	48	43
市民協働・行財政運営	航空機騒音対策	-0.547	30.5	48	47	47	42
産業振興	商業の振興	-0.670	26.5	49	49	49	39

※東松島市第2次総合計画の策定により、平成28年度新設した調査項目における過去の順位は「-」で表示している。

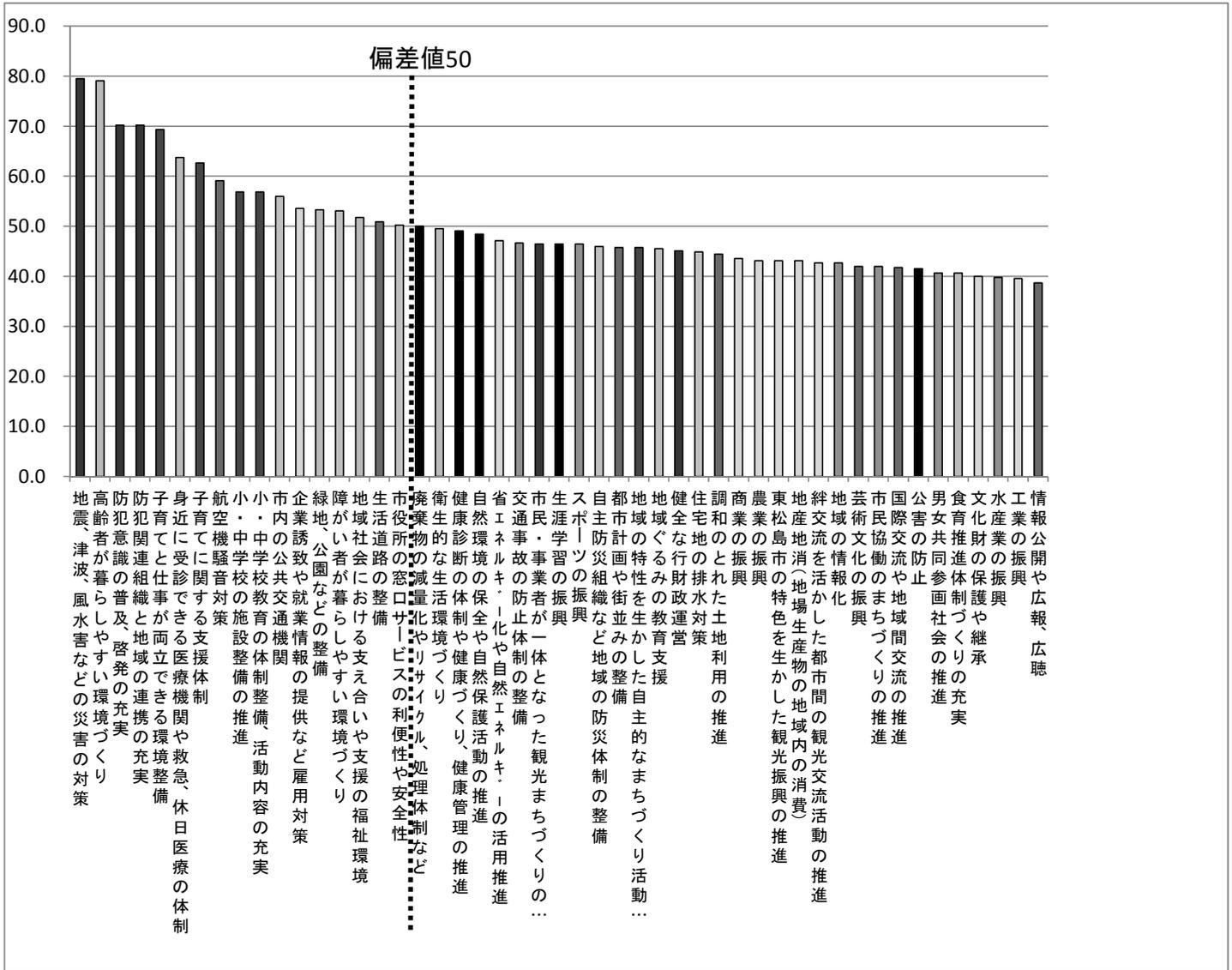


- 「自主防災組織の整備」が5年連続1位となっている。「地震、津波、風水害などの災害の対策」は、27年度に9位であったが、28年度に2位になり、以来、3年連続で2位となっている。
- 資源エネルギー・自然環境分野は「衛生的な生活環境づくり」が3位となった他、「廃棄物の減量化やリサイクル、処理体制など」が5位、「公害の防止」が6位、「省エネルギー化や自然エネルギーの活用推進」が8位、「自然環境の保全や自然保護活動の推進」が9位とすべての項目で10位以内に入り、かつ、すべての項目で満足度偏差値が60を超えている。
- 「健康診断の体制や健康づくり、健康管理の推進」は4位となり、ここ5年間、3位から6位の間で推移しており、安定して上位を保っている。
- 満足度が低い項目としては、「商業の振興」、「航空機騒音対策」、「企業誘致や就業情報の提供など雇用対策」、「市内の公共交通機関」が満足度偏差値30台となっており、概ね例年同様の傾向となっている。これらの項目は市民が今後、より多くの取り組みを望んでいる結果と言える。

重要度ランキング

重要度ランキング		指数	偏差値	順位			
				30年度	29年度	28年度	27年度
防災・防犯	地震、津波、風水害などの災害の対策	0.371	79.6	1	2	1	2
健康・福祉・医療	高齢者が暮らしやすい環境づくり	0.367	79.1	2	1	2	1
防災・防犯	防犯意識の普及、啓発の充実	0.288	70.2	3	5	5	-
防災・防犯	防犯関連組織と地域の連携の充実	0.288	70.2	4	5	5	-
子育て・教育	子育てと仕事が両立できる環境整備	0.280	69.3	5	3	4	-
健康・福祉・医療	身近に受診できる医療機関や救急、休日医療の体制	0.231	63.8	6	4	3	3
子育て・教育	子育てに関する支援体制	0.222	62.7	7	7	7	4
市民協働・行財政運営	航空機騒音対策	0.190	59.1	8	11	10	11
子育て・教育	小・中学校の施設整備の推進	0.171	56.9	9	19	19	6
子育て・教育	小・中学校教育の体制整備、活動内容の充実	0.171	56.9	10	19	19	6
都市基盤・交通	市内の公共交通機関	0.163	56.0	11	9	10	14
産業振興	企業誘致や就業情報の提供など雇用対策	0.141	53.6	12	8	9	5
都市基盤・交通	緑地、公園などの整備	0.139	53.3	13	9	8	8
健康・福祉・医療	障がい者が暮らしやすい環境づくり	0.137	53.1	14	12	13	10
健康・福祉・医療	地域社会における支え合いや支援の福祉環境	0.125	51.8	15	15	14	13
都市基盤・交通	生活道路の整備	0.118	50.9	16	12	12	16
市民協働・行財政運営	市役所の窓口サービスの利便性や安全性	0.112	50.2	17	16	16	12
資源エネルギー・自然環境	廃棄物の減量化やリサイクル、処理体制など	0.110	50.0	18	18	17	22
資源エネルギー・自然環境	衛生的な生活環境づくり	0.106	49.6	19	14	14	21
健康・福祉・医療	健康診断の体制や健康づくり、健康管理の推進	0.102	49.1	20	22	22	30
資源エネルギー・自然環境	自然環境の保全や自然保護活動の推進	0.096	48.5	21	34	34	26
資源エネルギー・自然環境	省エネルギー化や自然エネルギーの活用推進	0.084	47.1	22	17	18	9
防災・防犯	交通事故の防止体制の整備	0.080	46.7	23	26	23	16
産業振興	市民・事業者が一体となった観光まちづくりの推進	0.078	46.5	24	21	21	19
文化・生涯学習	生涯学習の振興	0.078	46.5	25	35	37	-
文化・生涯学習	スポーツの振興	0.078	46.5	26	24	25	24
防災・防犯	自主防災組織など地域の防災体制の整備	0.075	46.0	27	27	27	32
都市基盤・交通	都市計画や街並みの整備	0.073	45.8	28	31	29	27
市民協働・行財政運営	地域の特性を生かした自主的なまちづくり活動の推進	0.073	45.8	29	33	32	-
子育て・教育	地域ぐるみの教育支援	0.071	45.6	30	30	30	27
市民協働・行財政運営	健全な行財政運営	0.067	45.1	31	27	31	22
都市基盤・交通	住宅地の排水対策	0.065	44.9	32	27	27	31
都市基盤・交通	調和のとれた土地利用の推進	0.061	44.5	33	25	25	24
産業振興	商業の振興	0.053	43.6	34	35	34	20
産業振興	農業の振興	0.049	43.1	35	22	23	29
産業振興	東松島市の特色を生かした観光振興の推進	0.049	43.1	36	39	40	-
産業振興	地産地消（地場生産物の地域内の消費）	0.049	43.1	37	31	32	15
産業振興	絆交流を活かした都市間の観光交流活動の推進	0.045	42.7	38	38	37	34
市民協働・行財政運営	地域の情報化	0.045	42.7	39	48	48	37
文化・生涯学習	芸術文化の振興	0.039	42.0	40	42	42	37
市民協働・行財政運営	市民協働のまちづくりの推進	0.039	42.0	41	39	39	33
文化・生涯学習	国際交流や地域間交流の推進	0.037	41.8	42	43	44	16
資源エネルギー・自然環境	公害の防止	0.035	41.6	43	35	36	35
文化・生涯学習	男女共同参画社会の推進	0.027	40.7	44	41	41	42
健康・福祉・医療	食育推進体制づくりの充実	0.027	40.7	45	43	43	-
文化・生涯学習	文化財の保護や継承	0.022	40.0	46	47	47	35
産業振興	水産業の振興	0.020	39.8	47	45	44	39
産業振興	工業の振興	0.018	39.6	48	49	49	40
市民協働・行財政運営	情報公開や広報、広聴	0.010	38.7	49	46	46	40

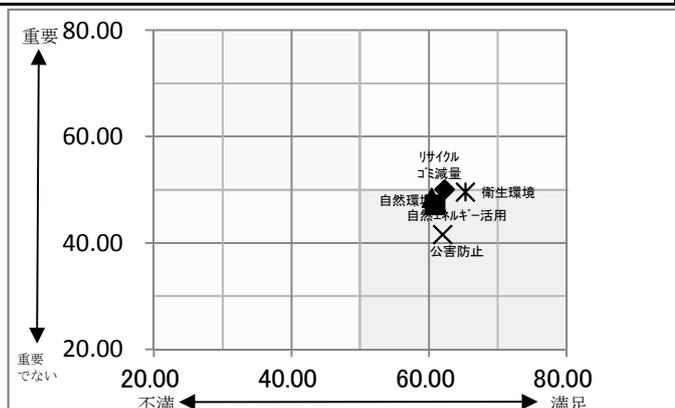
※東松島市第2次総合計画の策定により、昨年度、新設した調査項目における過去の順位は「-」で表示している。



- 上位については、「地震、津波、風水害などの災害の対策」が1位、「高齢者が暮らしやすい環境づくり」が2位となった。この2項目は、近年1、2位を交互に分け合っており、重要度偏差値を見ても、他の項目と比較しても圧倒的に市民が重要と考える度合いが高いことがわかる。
- 防災・防犯の分野では、「防犯意識の普及、啓発の充実」、「防犯関連組織と地域の連携の充実」が3、4位となり、いずれも昨年度から上昇傾向を示している。防犯に関しては自由意見でも多くの意見があり、暮らしやすい環境づくりの一つとして重要性が高まっていることが伺える。
- 「子育て・教育」の分野は全般的に重要度が高くなっており、なかでも「子育てと仕事が両立できる環境整備」、「子育てに関する支援体制」については、例年どおり重要と考える方が多く、自由意見でも大変多くの意見をいただいている。一方で、満足度偏差値は50を下回っており、更なる取り組みの充実が必要と考える市民が多いと言える。また、「小・中学校の施設整備の推進」、「小・中学校教育の体制整備、活動内容の充実」については昨年度、一昨年度と比べ、順位が大きく上がっている。自由意見でも教育の充実等を求める声は多く、子育てと合わせ、子どもに関係する分野への関心が非常に高いことが伺える。
- 「航空機騒音対策」についても昨年度までより順位が上昇しており、一方で満足度偏差値が非常に低くなっている。自由意見も多くあり、対策を求める声は大変多くなっている。
- 下位については、「情報公開や広報、広聴」、「工業の振興」、「水産業の振興」、「文化財の保護や継承」の順に低くなっている。これは、日常生活に直接関わりが高い分野について重要度が高いと考える市民が多いことから、相対的重要度が低くなっているものと考えられる。

資源エネルギー・自然環境分野の満足度・重要度

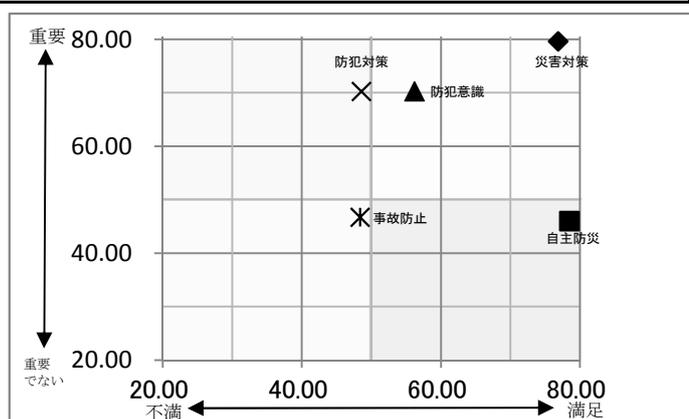
	満足度の 偏差値	重要度の 偏差値
廃棄物の減量化やリサイクル、処理体制など	62.26	50.01
省エネルギー化や自然エネルギーの活用推進	60.86	47.13
自然環境の保全や自然保護活動の推進	60.38	48.46
公害の防止	61.99	41.57
衛生的な生活環境づくり	65.29	49.57
平均値	62.16	47.35



エリア① 重要 不満	エリア② 重要 満足
エリア③ 重要でない 不満	エリア④ 重要でない 満足

防災・防犯分野の満足度・重要度

	満足度の 偏差値	重要度の 偏差値
地震、津波、風水害などの災害の対策	76.86	79.56
自主防災組織など地域の防災体制の整備	78.50	46.01
防犯意識の普及、啓発の充実	56.22	70.23
防犯関連組織と地域の連携の充実	48.56	70.23
交通事故の防止体制の整備	48.36	46.68
平均値	61.70	62.54



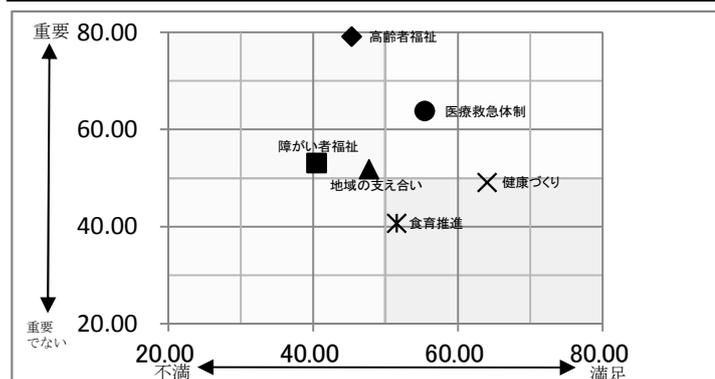
○「資源エネルギー・自然環境」分野は、全項目に関して、エリア④に入っている。満足度の偏差値も高く、現在の取り組みに関して継続していくことが重要と考えられる。

○「防災・防犯」の分野は、災害対策について、震災以降、最優先で取り組んできたこともあり、重要度、満足度ともに高い結果となっている。今後も継続した取り組みを行っていくことが重要である。

また、防犯に関する取り組みが2項目ともに重要視されてきており、これは新しい生活環境が生まれたことや昨今の社会事情などを要因とするものと考えられ、今後、重点的な取り組み強化をしていくことが望まれる。

健康・福祉・医療分野の満足度・重要度

	満足度の偏差値	重要度の偏差値
高齢者が暮らしやすい環境づくり	45.29	79.12
障がい者が暮らしやすい環境づくり	40.44	53.12
地域社会における支え合いや支援の福祉環境	47.70	51.79
健康診断の体制や健康づくり、健康管理の推進	64.02	49.12
食育推進体制づくりの充実	51.51	40.68
身近に受診できる医療機関や救急、休日医療の体制	55.38	63.79
平均値	50.72	56.27



エリア①
重要
不満

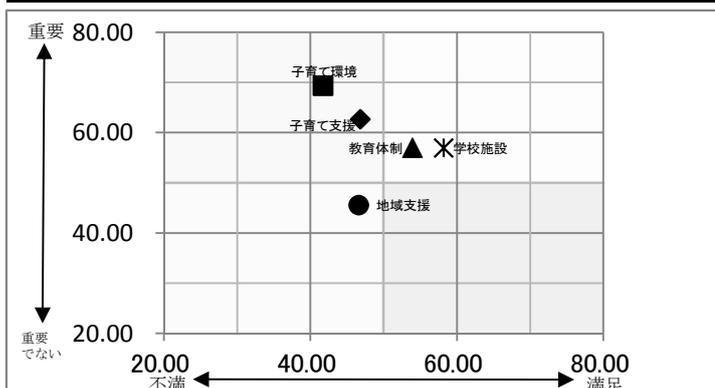
エリア②
重要
満足

エリア③
重要でない
不満

エリア④
重要でない
満足

子育て・教育分野の満足度・重要度

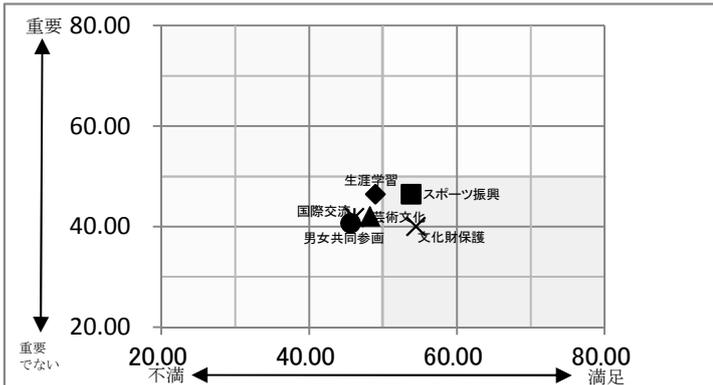
	満足度の偏差値	重要度の偏差値
子育てに関する支援体制	46.79	62.68
子育てと仕事が両立できる環境整備	41.72	69.34
小・中学校教育の体制整備、活動内容の充実	53.94	56.90
小・中学校の施設整備の推進	58.16	56.90
地域ぐるみの教育支援	46.58	45.57
平均値	51.75	60.54



- 「健康・福祉・医療」の分野では福祉関係の3項目(「高齢者福祉」、「障がい者福祉」、「地域の支え合い」)がエリア①に入っており、関心の高さと福祉分野への取り組みの強化が求められていることが分かる。特に、「高齢者福祉」については重要度が非常に高いと考えられており、コミュニティ再形成による孤立や移動手段不足等の課題への対策強化が求められていると考えられる。
- 「子育て・教育」の分野に対する関心は昨今の社会事情により高く、アンケート結果にもそれが現れている。特に「子育て環境」、「子育て支援」はエリア①に入っており、重点的な取り組み強化を望んでいることが伺える。自由意見においても、待機児童解消や保育園、学童保育の充実等を求める記述が大変多くなっている。

文化・生涯学習分野の満足度・重要度

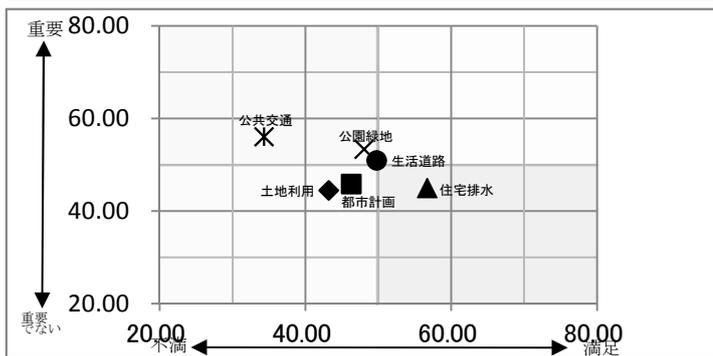
	満足度の 偏差値	重要度の 偏差値
生涯学習の振興	48.97	46.46
スポーツの振興	53.80	46.46
芸術文化の振興	48.23	42.02
文化財の保護や継承	54.43	40.02
国際交流や地域間交流の推進	46.14	41.79
男女共同参画社会の推進	45.60	40.68
平均値	49.53	42.90



エリア① 重要 不満	エリア② 重要 満足
エリア③ 重要でない 不満	エリア④ 重要でない 満足

都市基盤・交通分野の満足度・重要度

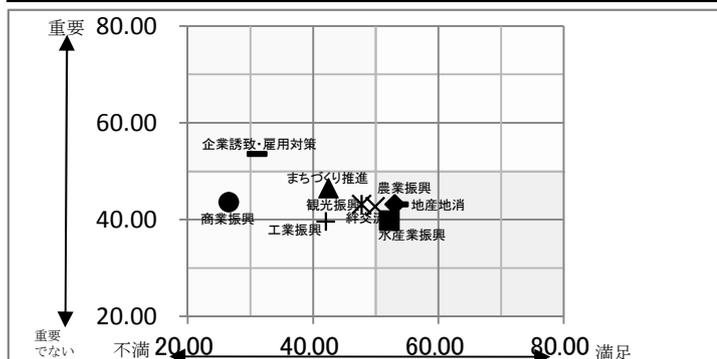
	満足度の 偏差値	重要度の 偏差値
調和のとれた土地利用の推進	43.18	44.46
都市計画や街並みの整備	46.29	45.79
住宅地の排水対策	56.70	44.90
緑地、公園などの整備	48.03	53.35
市内の公共交通機関	34.30	56.01
生活道路の整備	49.74	50.90
平均値	46.37	49.24



- 「文化・生涯学習」の分野については、全項目とも重要度が低くなっている。文化や生涯学習は日常生活に直結しにくいいため、他分野に比べ、相対的に関心が低くなっているものと推測される。
- 「都市交通・基盤」の分野では「公共交通」の項目が重要度が高く、満足度が低い結果が出ている。公共交通は多くの地方都市において課題となっているが、本市においても関心の高さと現状に満足していないことが分かる。「公園緑地」もエリア①に入っており、自由意見でも「公共交通」とともに公園整備等を求める記述が多く、関心が高いことが伺える。

産業振興分野の満足度・重要度

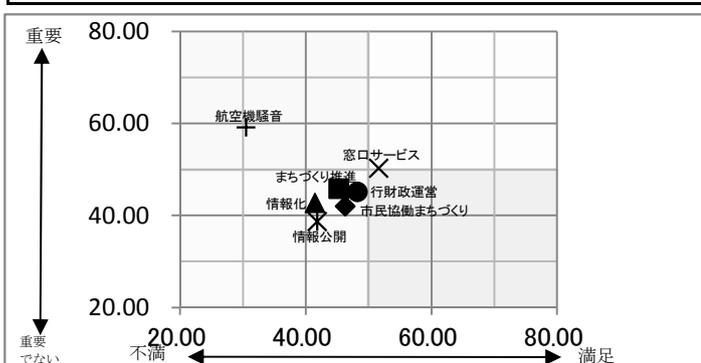
	満足度の偏差値	重要度の偏差値
農業の振興	53.05	43.13
水産業の振興	52.17	39.79
市民・事業者が一体となった観光まちづくりの推進	42.47	46.46
絆交流を活かした都市間の観光交流活動の推進	49.90	42.68
東松島市の特色を生かした観光振興の推進	47.76	43.13
商業の振興	26.54	43.57
工業の振興	42.04	39.57
地産地消（地場生産物の地域内の消費）	53.61	43.13
企業誘致や就業情報の提供など雇用対策	31.08	53.57
平均値	44.29	43.89



エリア① 重要 不満	エリア② 重要 満足
エリア③ 重要でない 不満	エリア④ 重要でない 満足

市民協働・行財政運営分野の満足度・重要度

	満足度の偏差値	重要度の偏差値
市民協働のまちづくりの推進	46.26	42.02
地域の特性を生かした自主的なまちづくり活動の推進	45.27	45.79
地域の情報化	41.48	42.68
市役所の窓口サービスの利便性や安全性	51.60	50.24
情報公開や広報、広聴	41.81	38.68
健全な行財政運営	48.23	45.13
航空機騒音対策	30.52	59.12
平均値	43.60	46.24

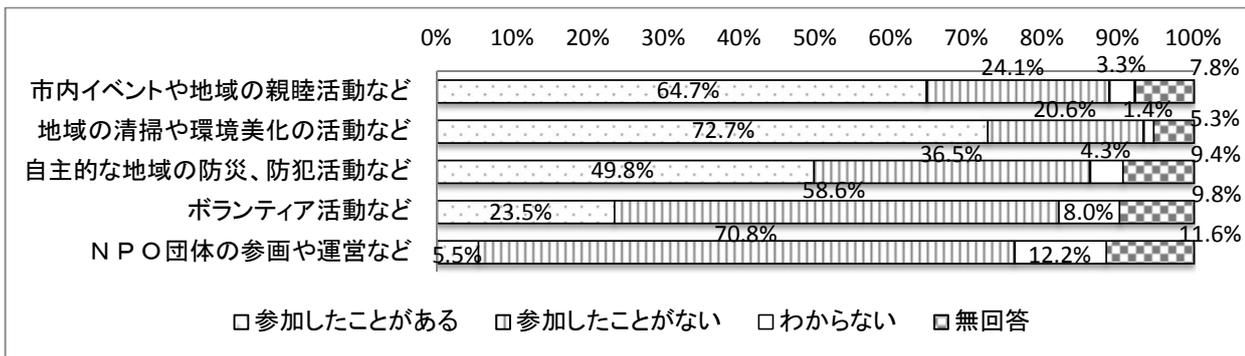


- 「産業振興」の分野は、水産業、農業についての満足度は一定程度あるが、商工業に関しては満足度が低い結果となっている。特に「企業誘致・雇用対策」についてはエリア①に入っており、重要度も高いと考えている市民が多いことが分かることから、引き続き、より重点的な取り組み強化が望まれる。
- 「市民協働・行財政運営」の分野については「航空機騒音」のみがエリア①に入っており、満足度が非常に低くなっている。自由意見でも多くの記述があり、日常生活に直結する問題であることから、関心が高くなっているものと考えられる。

問16-1. 活動への参加

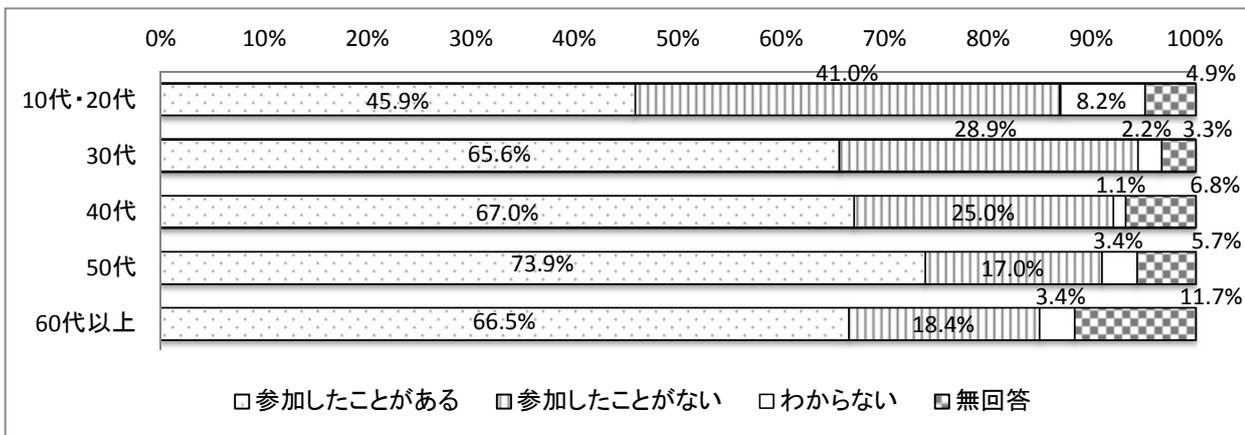
あなたが、これまでに参加したことがある活動はありますか？

		参加したことがある		わからない	無回答	総数
		ある	ない			
市内イベントや地域の親睦活動など	回答数	330	123	17	40	510
	構成比	64.7%	24.1%	3.3%	7.8%	100.0%
地域の清掃や環境美化の活動など	回答数	371	105	7	27	510
	構成比	72.7%	20.6%	1.4%	5.3%	100.0%
自主的な地域の防災、防犯活動など	回答数	254	186	22	48	510
	構成比	49.8%	36.5%	4.3%	9.4%	100.0%
ボランティア活動など	回答数	120	299	41	50	510
	構成比	23.5%	58.6%	8.0%	9.8%	100.0%
NPO団体の参画や運営など	回答数	28	361	62	59	510
	構成比	5.5%	70.8%	12.2%	11.6%	100.0%

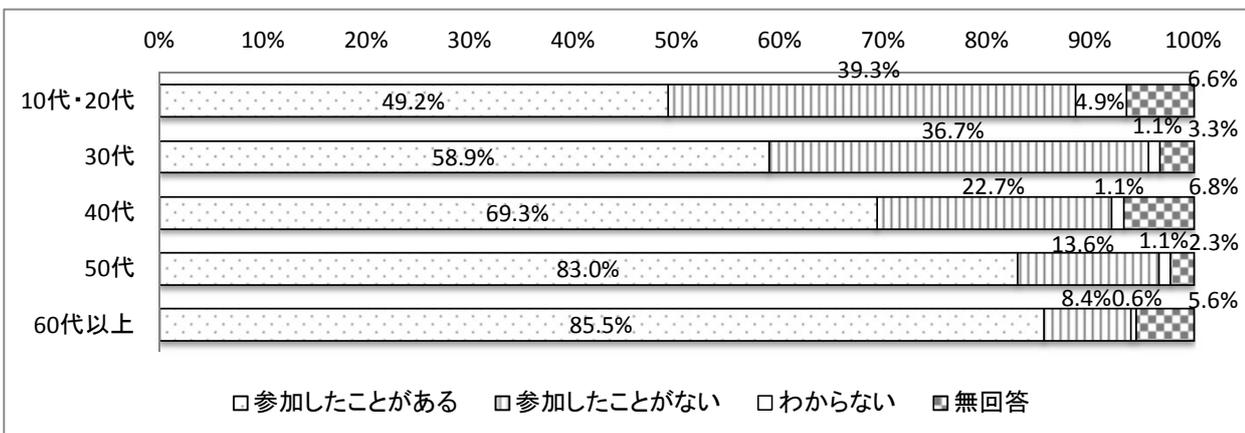


年齢別階層

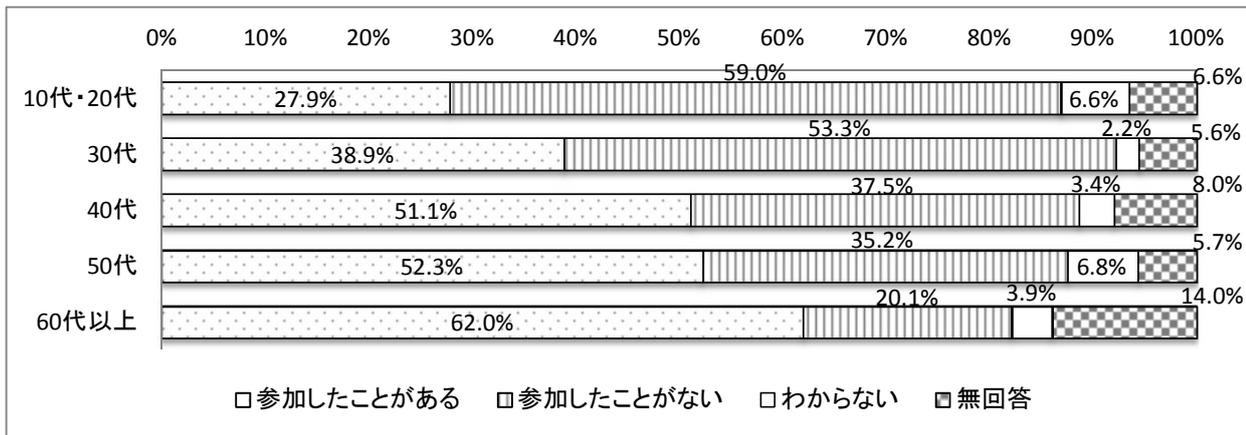
◆市内イベントや地域の親睦活動など



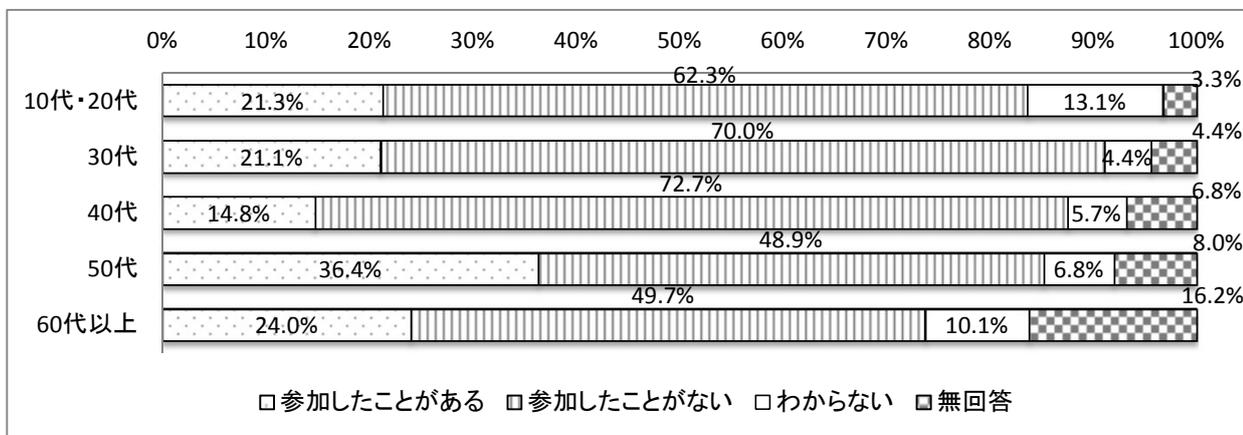
◆地域の清掃や環境美化の活動など



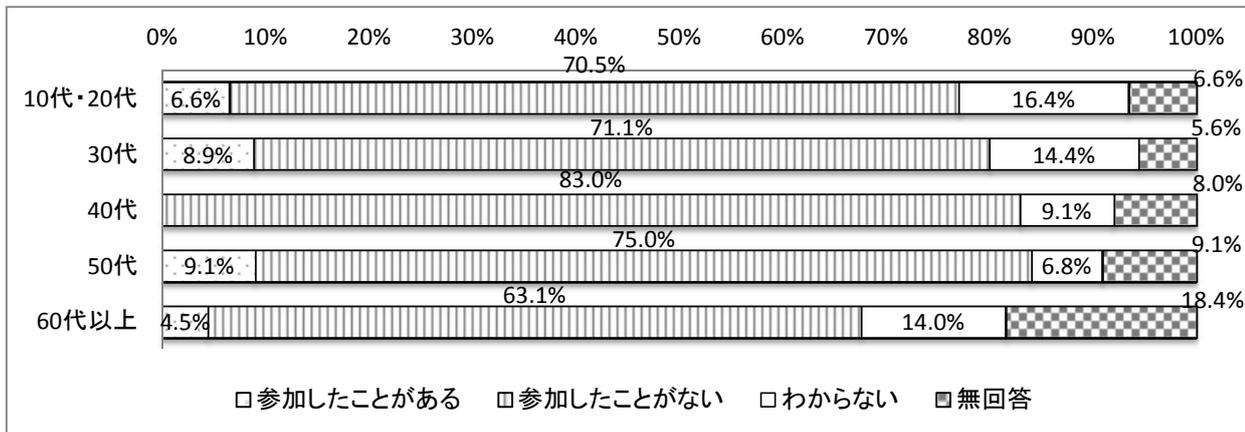
◆自主的な地域の防災、防犯活動など



◆ボランティア活動など



◆NPO団体の参画や運営など

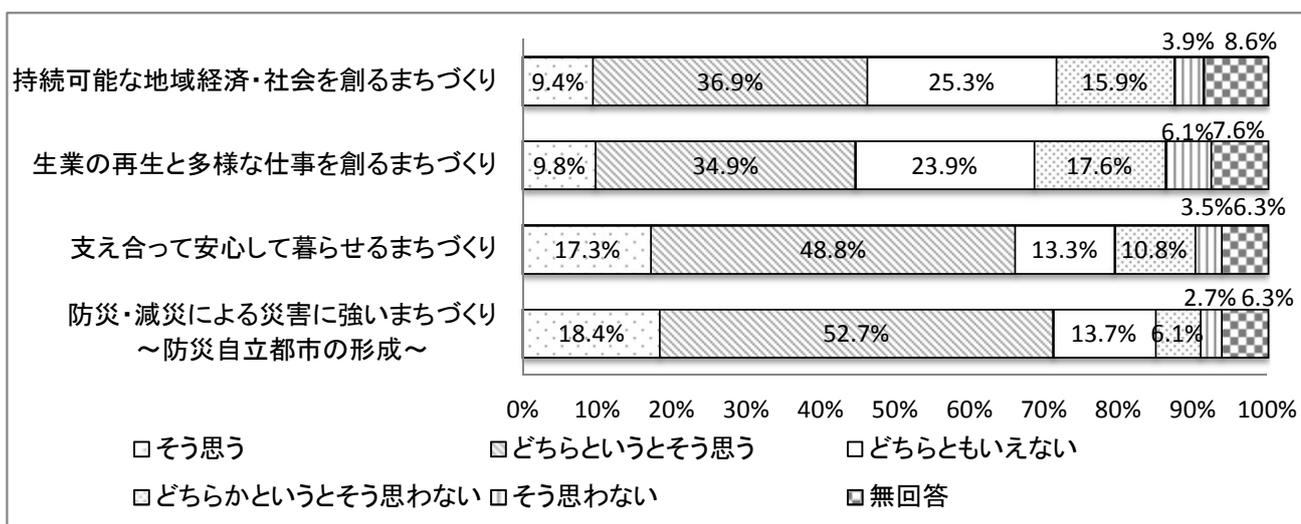


- 「市内イベントや地域の親睦活動など」は64.7%が参加したことがあると回答しており、年齢別に見ると、30代以上は6割以上が参加している。自由意見でも多くの方が地域のイベント等に参加したい意向も持っていることも見受けられる。
- 「地域の清掃や環境美化の活動など」は72.7%が参加したことがあり、参加したことがあると回答した方が最も多い活動となっている。年代別に見ると40代以上ではすべての世代で80%を超えている一方で、30代以下では参加したことがない方が4割近く、世代間の差が浮き彫りになっている。
- 「ボランティア活動など」は参加したことがないが58.6%であり、参加したことがあるを上回っている。世代別では50代が最も多くなっており、比較的年齢が高い方が参加したことがあるという回答が多い。
- 「NPO団体の参画や運営など」は70.8%が参加したことがなく、世代別で見ても、参加したことがある方は非常に少ないが、参加したことがあるが比較的若い年齢層に多いことが他の活動と異なっている。

問17. 復興まちづくり計画

東松島市では、復興まちづくりの基本方針に以下の4つを挙げています。
東松島市がこの基本方針の実現に向けて進んでいると思うかお答えください。

		そう 思う	どちら かとい うとそ う思う	どちら ともい えない	どちら かとい うとそ う思わ ない	そう思 わない	無回答	総数
【1】 防災・減災による災害に強いまちづくり ～防災自立都市の形成～	回答数	94	269	70	31	14	32	510
	構成比	18.4%	52.7%	13.7%	6.1%	2.7%	6.3%	100.0%
【2】 支え合って安心して暮らせるまちづくり	回答数	88	249	68	55	18	32	510
	構成比	17.3%	48.8%	13.3%	10.8%	3.5%	6.3%	100.0%
【3】 生業の再生と多様な仕事を創るまちづくり	回答数	50	178	122	90	31	39	510
	構成比	9.8%	34.9%	23.9%	17.6%	6.1%	7.6%	100.0%
【4】 持続可能な地域経済・社会を創るまちづくり	回答数	48	188	129	81	20	44	510
	構成比	9.4%	36.9%	25.3%	15.9%	3.9%	8.6%	100.0%

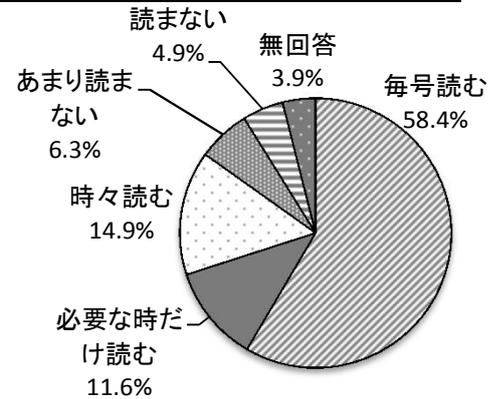


- 「防災・減災による災害に強いまちづくり」については71.1%、「支え合って安心して暮らせるまちづくり」については66.1%が実現に向けて進んでいると感じている。これは、日常生活に直結するような項目が多いことから、関心が高く、自由意見を見ても様々な取り組みを求める意見が多い一方で、これまでの取り組みに一定の評価がされていることも伺える。
- 一方で、「持続可能な地域経済・社会を創るまちづくり」については、46.3%、「生業の再生と多様な仕事を創るまちづくり」については44.7%が実現に向けて進んでいると感じるにとどまっている。また、どちらともいえないがそれぞれ25.3%、23.9%を占める結果となった。これは、生業の再生や企業誘致、雇用の確保や再生可能エネルギー産業の創出や地域循環型経済の構築などの取り組みが不十分と感じている方が多く、また、日常生活に直接関係しない部分も多いことから、進捗状況が見えにくいことなどが原因の一つと考えられ、今後、更なる取り組みの推進と市民への周知が必要と考えられる。

問18～24 「市報ひがしまつしま」について

問18 「市報ひがしまつしま」を毎月（1日号・15日号）読んでいますか

	回答欄	回答数	構成比
1	毎号読む	298	58.4%
2	必要な時だけ読む	59	11.6%
3	時々読む	76	14.9%
4	あまり読まない	32	6.3%
5	読まない	25	4.9%
6	その他	0	0.0%
	無回答	20	3.9%
	合計	510	100.0%

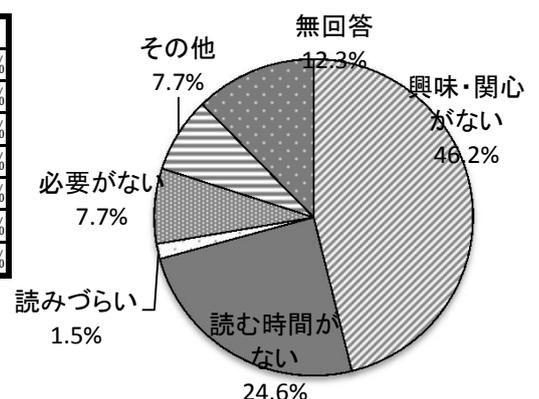


問19 どの記事を主に読んでいますか（複数回答あり）

	回答欄	回答数	構成比
1	全ページ読む	276	32.8%
2	特集	53	6.3%
3	まちの情報広場	60	7.1%
4	市民協働のまちづくり	17	2.0%
5	City View	9	1.1%
6	子育て支援センター	24	2.9%
7	スポパ通信	3	0.4%
8	ひがしまつしまの観光と物産	38	4.5%
9	知っ得情報	39	4.6%
10	それゆけ！イート	2	0.2%
11	東松島市医師団リレートーク	13	1.5%
12	食のリレートーク	9	1.1%
13	縄文村だより	6	0.7%
14	戸籍のまど	62	7.4%
15	市民のカレンダー	59	7.0%
16	生活情報	67	8.0%
17	図書館だより	21	2.5%
18	まなびい（生涯学習コーナー）	11	1.3%
19	蔵しっくパークだより	41	4.9%
20	その他	3	0.4%
	無回答	29	3.4%
	合計	842	100.0%

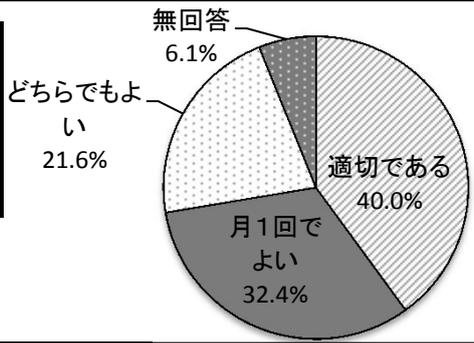
問20 読まない理由を教えてください

	回答欄	回答数	構成比
1	興味・関心がない	30	46.2%
2	読む時間がない	16	24.6%
3	読みづらい	1	1.5%
4	必要がない	5	7.7%
5	その他	5	7.7%
	無回答	8	12.3%
	合計	65	100.0%



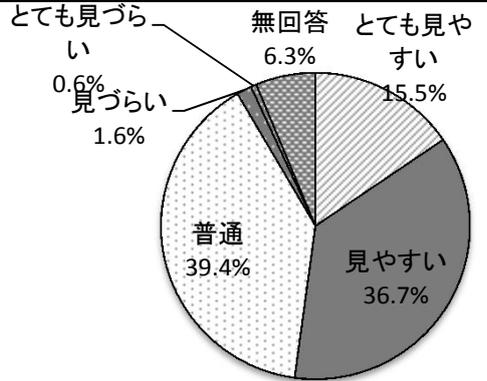
問 2 1 月 2 回発行（1 日号・1 5 日号）について、どう思いますか

	回答欄	回答数	構成比
1	適切である	204	40.0%
2	月 1 回でよい	165	32.4%
3	どちらでもよい	110	21.6%
	無回答	31	6.1%
	合計	510	100.0%



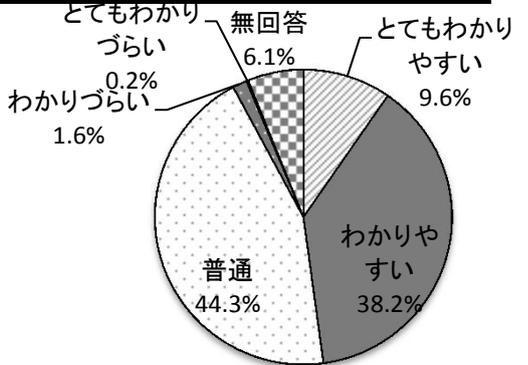
問 2 2 紙面の見やすさ(大きさ)についてどう思いますか

	回答欄	回答数	構成比
1	とても見やすい	79	15.5%
2	見やすい	187	36.7%
3	普通	201	39.4%
4	見づらい	8	1.6%
5	とても見づらい	3	0.6%
	無回答	32	6.3%
	合計	510	100.0%



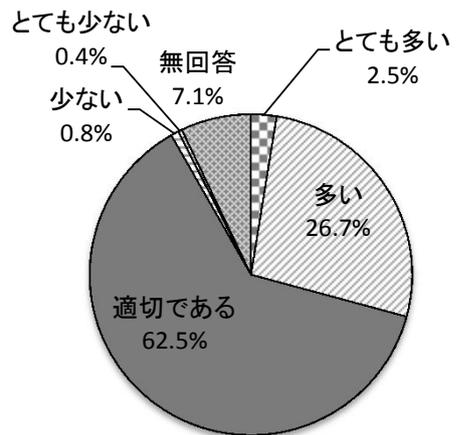
問 2 3 記事のわかりやすさについてどう思いますか

	回答欄	回答数	構成比
1	とてもわかりやすい	49	9.6%
2	わかりやすい	195	38.2%
3	普通	226	44.3%
4	わかりづらい	8	1.6%
5	とてもわかりづらい	1	0.2%
	無回答	31	6.1%
	合計	510	100.0%



問 2 4 市議会だよりなど、各関係機関等からのお知らせの配布物の量（種類）についてどう思いますか

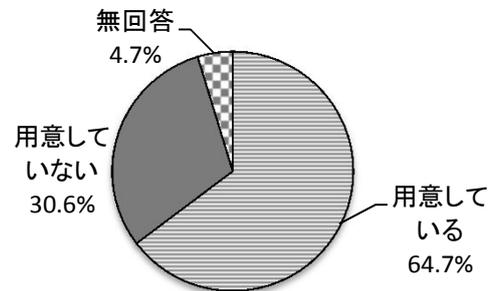
	回答欄	回答数	構成比
1	とても多い	13	2.5%
2	多い	136	26.7%
3	適切である	319	62.5%
4	少ない	4	0.8%
5	とても少ない	2	0.4%
	無回答	36	7.1%
	合計	510	100.0%



問 2 6 ~ 2 8 家庭内防災用備蓄について

問 2 6 ご家庭内で災害用の食料、飲料水等の備蓄品は用意していますか。

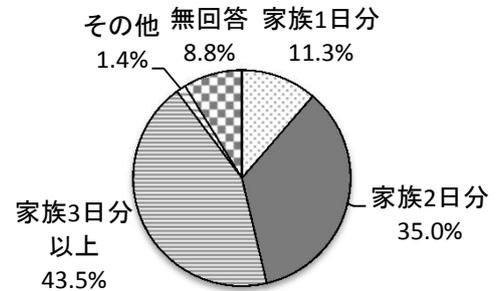
	回答欄	回答数	構成比
1	用意している	330	64.7%
2	用意していない	156	30.6%
	無回答	24	4.7%
	合計	510	100.0%



問 2 7 食料と飲料水は何日分備蓄していますか。

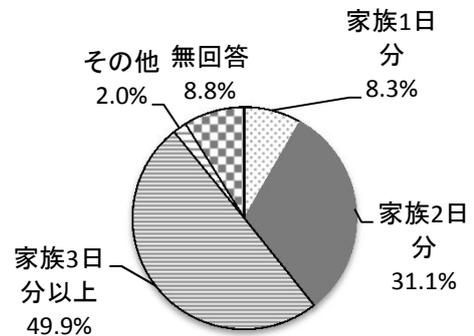
食料

	回答欄	回答数	構成比
1	家族1日分	40	11.3%
2	家族2日分	124	35.0%
3	家族3日分以上	154	43.5%
4	その他	5	1.4%
	無回答	31	8.8%
	合計	354	100.0%



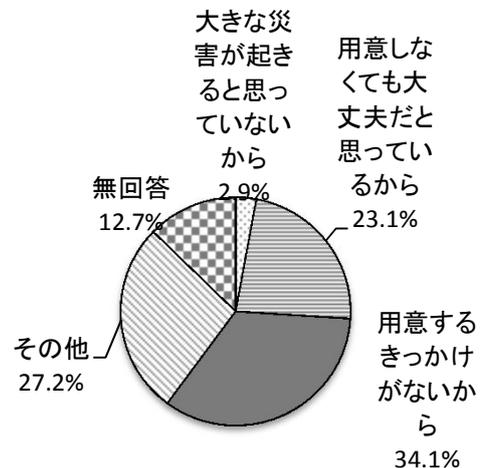
飲料水

	回答欄	回答数	構成比
1	家族1日分	29	8.3%
2	家族2日分	109	31.1%
3	家族3日分以上	175	49.9%
4	その他	7	2.0%
	無回答	31	8.8%
	合計	351	100.0%



問 2 8 備蓄をしていない主な理由は何ですか。

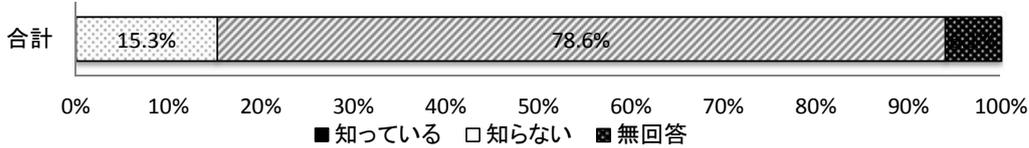
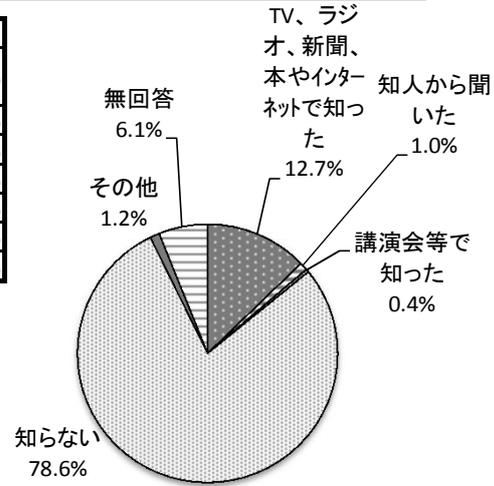
	回答欄	回答数	構成比
1	大きな災害が起きると思っていないから	5	2.9%
2	用意しなくても大丈夫だと思っているから	40	23.1%
3	用意するきっかけがないから	59	34.1%
4	その他	47	27.2%
	無回答	22	12.7%
	合計	173	100.0%



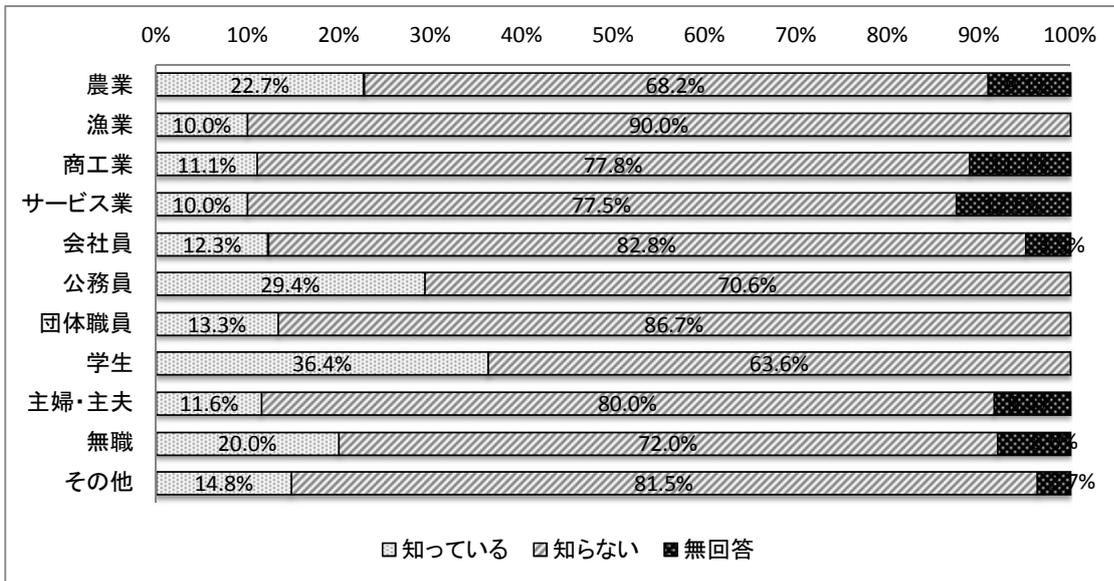
問 2 9 SDGs(持続可能な開発目標)について

問 2 9 本市は、国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。SDGsという言葉を知っていますか。

	回答欄	回答数	構成比
1	TV、ラジオ、新聞、本やインターネットで知った	65	12.7%
2	知人から聞いた	5	1.0%
3	講演会等で知った	2	0.4%
4	知らない	401	78.6%
5	その他	6	1.2%
	無回答	31	6.1%
	合計	510	100.0%



職業別



- SDGs(持続可能な開発目標)という言葉を知らないという回答が78.6%を占めた。本市は本年6月15日にSDGs未来都市に認定されたが、日が浅いこともあり、市民にはまだまだ浸透していないことが伺える。
- 知っているのは15.3%にとどまるが、知った理由としては、TV、ラジオ、新聞、本やインターネットで知ったが多くを占めており、SDGs未来都市認定の際の報道によるものと考えられる。
- 職業別では、学生が36.4%で最も多く、続いて公務員が29.4%となっている。学生は学業で、公務員は職場で知る機会が多いものと考えられる。